

令和3年11月26日研究公開報告

令和3年度大隅地区研究協力校研究公開

志布志市立原田小学校で

「学力向上（少人数・複式）」についての研究公開が開催されました。

令和3年11月26日（金）に、志布志市立原田小学校にて、大隅地区研究協力校「学力向上（少人数・複式）」の研究公開が行われました。原田小は、令和元年度から3年間、国語科を中心に研究を進めてきました。研究主題は「深い学びへと向かう主体的・対話的授業の創造～「読む力」の向上をめざす少人数・複式授業の改善～」です。当日は、全体会場にこれまでの研究によって作成された様々な成果物が展示され、研究の確実な積み上げが感じられる準備が整っておりました。新型コロナウイルス感染症対策も徹底しており、充実した日程で素晴らしい研究公開を行うことができました。



【閉会のあいさつ】若松 剛志校長先生

【研究発表】

ドローンで全校児童と先生方を撮影した場面から始まるプレゼンテーションで、研修係の宇都先生が、3年間の研究の成果を発表されました。原田小は、系統的な学習内容の定着を図るため、学年別に教師用の「説明的な文章のおさえかた」や児童用の「一人学びの手引き」を作成し、全員で共通理解・共通実践に努めてこられました。また、学校一枚文集「原田の子」の発行や毎週の校内放送による日記や作文紹介等、学びの一般化も力を入れました。



【研究発表の様子】

【授業研究】

少人数や複式学級における国語科の授業でしたので、同じような課題を抱えていらっしゃる先生方の熱心な意見交換が行われました。今回、原田小には、振り返りや論理的思考の他に、両授業でポストテストを導入し、見届けを行う姿も見せていただきました。また、授業で扱った教材・教具や文集、手引き等の成果物も近くで見ることができ、大変好評でした。



【授業研究の様子】

【公開授業：複式第5・6学年】

単元名5年「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう」

（教材名「固有種が教えてくれること」他光村図書5年）

単元名 6年「表現の工夫をとらえて読みそれをいかして書こう」

（教材名「『鳥獣戯画』を読む」他光村図書6年）

5年生は、図表と叙述との対応を読み取ったりそれらの資料の効果を考えたりすることを、6年生は、絵と叙述を対照とした筆者のものの見方・考え方、論の進め方等を捉えることをねらいとした授業でした。両学年共に叙述と資料の効果的な使い方に対して、児童の多様な意見が出されました。【5・6年生の授業】



【公開授業：第2学年】

単元名「読んで考えたことを話そう」

（教材名「どうぶつ園のじゅうい」光村2年上）

獣医の仕事について、叙述をもとに調べ、どんな願いをもっているのかを追究していく本時では、自分の考えとその理由を尋ね合い高め合う姿が見られました。まとめでは獣医の願いを共有することもできました。自校の振り返り「でつかいな」やポストテストへの取組も充実していました。



【2年生の授業】